

いやしの家・癒しの里

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	2	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		1 外部 評価 1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービス事業所として福祉サービスを通して、地域住民の健康増進に寄与し、“お互いに癒し、癒される関係”作りを目指す、運営理念のもとにその人らしい生活の継続ができるようにサービスの提供を行っている	0	
		2 外部 評価 2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	週に1回の全体朝礼で全員で理念を読み上げ確認しあうと共にミーティングやカンファ等にて共有しケアに生かせるようにしている	0	
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	玄関に理念を掲げ、利用者様、ご家族に理解していただけるようにしている。家族会や運営推進会議で家族や地域の方たちに伝えるようにしている	0	
			2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	0	
		2	4 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣が商業地のため近隣住民と顔を合わせることは少ないが、小学校の集団下校時の見守りや地域サークルの参加によって付き合いは増えている	0	
			5 外部 評価 3	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域で行われる、運動会や文化祭、サークル等に積極的に参加し、地域の一員として参加できるものには参加し、地域の方との交流に努めている	0

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地域 合との	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	利用者はもちろん地域の高齢者の介護相談や施設や他サービスとの連携で情報提供や解決の糸口を一緒に考えたりケアマネジャーを中心に取り組んでいる	0	
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	1	
	3 理念を 実践す るた めの 制度 の理 解と 活用	7 外部 評価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の項目1つ1つに対して実施できているかを運営者、管理者、職員で検討し改善に取り組んでいる	0	
		8 外部 評価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で必ずサービスの実際や取り組みに関して報告するとともに意見や情報交換を行ったうえでサービスの向上につながるよう取り組んでいる	0	
		9 外部 評価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事業所として地域に貢献できるように広報活動や運営推進会議で要請を町に行っているが、一方的で現状としては具体的な取り組みはできていない	1	更に市町村担当者との連携をはかり取り組んでいく
		10 外部 評価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	毎年、施設内研修で地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について全員が学ぶ機会を持っており、各フロアに資料を配置し、いつでも見ることができるよう家族会等で案内したり、個別に相談に応じるようにしている	0	
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設内研修で高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持つと共に、各フロア、ファイルとして配布し随時学べるようにし、日常的に虐待防止法を踏まえ自己チェックができるようにしている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	0	
理念に基づく 運営	理念を 実践す るた めの 体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関しては事前の面談や説明により、不安や疑問等が十分な話し合いを重ねることによって少しでも、理解・納得していただけるように時間をとっている。納得いただけるまで丁寧に説明や見学をしていただくように努力している	0	
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者が運営推進会議に参加して外部者に表せる機会としたり、管理者は個々の不満や苦情等を個別に把握できるようにし、事業所全体の会議の場に持ち寄り運営に反映させている	0	
		14 外部 評価 8	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時や電話連絡、個別面談時に利用者の心身状況や金銭管理、健康状態、日常の様子などを報告している。定期的に家族会を開催し家族との思い出作りの場となるように工夫している。2ヶ月に1回発行している広報誌でも行事や普段の取り組み、職員の紹介等を行っている	0	
		15 外部 評価 9	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約時に苦情・相談窓口についての案内をするとともに、何かあればすぐに相談していただけるように声かけをすると共に意見箱を設置している。運営推進会議等で家族も参加していただき外部へ表せる機会としている	0	
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	年に2回の個別面談を実施すると共に、フロアミーティング時に提案や意見を聞き、全体の会議の場で個々に出た意見を運営に反映させるようにしている	0	
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	職員が利用者、家族のニーズに対応できるように職員の勤務調整に努めている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に 基づく 運営	4	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者本位に考えた上で、職員の適材適所での異動を心がけ、離職を最小限に抑えられるように働きやすい職場作りと精神的サポートをするように努力している	0	
	5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)		自己評価6項目・外部評価4項目	1	
	5	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員の募集や・採用にあたっては性別や年齢等は関係なく、働く意欲があれば採用するようにしている。また職員がいくつになっても働いていけるように配慮してる	0	
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	年に1回は必ず人権教育として職員全体に研修の機会を設けると共に、施設内研修の機会に入居者に対する人権尊重を考える機会としている	0	
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は管理者研修、リーダー研修等を経てスタッフ教育のスキルアップを図ると共に、実際の現場で職員が能力を活かせるように年間教育を計画し、研修を実施している。職員の介護経験や入社年次等を勘案して実践者研修や管理者研修その他研修を受けてもらいレベルアップを図っている	0	
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会やG・H同士でのつながりを持ち情報交換やネットワーク作りを行っており、サービスの質の向上につなげている	1	相互訪問はあまり行っていないため今後の活動で実施していきたい
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員慰安旅行、忘年会等でストレス発散の場を設けると共に定期的に面談の場を設けて早めに問題の把握と解決をするようにしている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員個々の努力や実績、勤務状況等を把握し昇格、昇給、賞与等の考課を通じて、向上心を持って働けるように努めている	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	1	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1	相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)		自己評価4項目・外部評価1項目	0	
	1	25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前から十分に話し合う機会を持ち不安なことや、ニーズの把握に努めどのように対応していくのかをその都度明確にし、できるだけ安心して利用していただけるようにしている	0	
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人を含め、家族の抱える不安やニーズも相談から利用に至るまでに十分聴く機会を作り対応して安心して利用していただけるように努めている	0	
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時その状況に応じて本人及び家族が何らかの解決の糸口を見つけていることができるように誠心誠意対応し、必要時は他の施設への連絡調整等も実施している	0	
		28	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	まずは本人がその場の雰囲気に馴染めるかを見学や体験利用などを活用し、必要なら外出・外泊を重ねつつ馴染んでいけるように工夫している	0	
		29	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)		自己評価6項目・外部評価1項目	1
	29	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	基本理念である“癒し癒される関係”作りを実践できるように、コミュニケーションを密にとり、入居者から色々なことを学んだり、家事や他入居者を職員、入居者が一緒に思いでいたわったりとお互いが家族のような存在になっている	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時は一緒におやつを食べていただいたり、レクレーションに参加していただいたり、家族会時ピクニックやバーベキュー、夏祭り、敬老会等、家族と一緒に楽しみながら本人を支える一員として参加してもらっている	0	
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人及び家族との信頼関係の構築に努め、本人と家族との関係が良好に維持できるように支援している	0	
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域の方では馴染みの場所への散歩やドライブなど本人がなつかしい思い出せる場を作ると共に家族が馴染みの人や場所への連れ出しを行っている	1	家族の協力が無い方や遠方に居住していた方などはなかなか支援できていない
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	座る場所やレクレーション時など関わりあえる場を作り、お互いが友好的に関係がもてるように支援し工夫している	0	
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービスが利用終了しても地域の施設として気軽に立ちよっていただけるように声をかけると共に、必要時は相談等も対応していけるようにしている	0	
	その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目	3
1 の 一 把 人 握 ひ と り	1 一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)			自己評価 3項目・外部評価 1項目	0	
	35 外 部 評 価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している		入居時に本人の生い立ちや暮らし方うれしいと思うことや趣味、嗜好に関してできる限りの情報を収集し個々にあった対応に努めている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでほしい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の聞き取りや日常生活の会話の中からできる限りの情報を収集して把握に努めている	0	
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	入居前、入居後の過ごし方の変化等も踏まえ睡眠パターン、排泄パターン、アセスメント、健康診断等を総合的に把握するようにしている	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	1		
	2 介護計画の作成と見直し 本人がより良く暮らし続けるための	38 外部評価18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人のニーズを把握しG・H内で満足いく生活が送れるようにケアカンファ時に介護計画の検討を行っている	1	
		39 外部評価19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	本人に計画の見直しが必要な変化が生じた場合は、臨機応変に本人の変化に即した計画の検討を行っている	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子は経過記録に記入し、ケアプランに基づいたサービスの実践、結果、気づきは介護経過へ記録し、スタッフ間で共有し介護計画の見直しに活かしている	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	し3 多機能を活かした柔軟な支援	41 外部評価20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療関連の受診をはじめ、その他要望があればできる限り事業所全体での柔軟な対応をしている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	2	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域でのボランティアの方や民生委員の方との連携をとり協力体制をとりながら支援している	0	
	4	43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている		1	他のサービス事業の利用は今のところないが介護保険外でのサービスの利用に関しては意向や必要性に応じて支援していきたい
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している		1	今のところ地域包括支援センターとの協働はないが、必要に応じては協働していきたい
		45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時にかかりつけ医の確認や必要な医療の継続について十分な話し合いをし、希望に沿うように主治医を交え支援している。月に2回の往診と年に2回の定期健康診断に加え、必要時は専門科を受診し適切な医療を受けられるように努めている	0	
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	主治医及び認知症専門医と連携をとりながら往診や受診を通して相談や治療を受けている	0	
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	常勤の看護職員が毎日の健康チェックや健康管理を行い、異常時は早急に対応できる体制が整えられ、適切な医療の活用支援が出来ている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	利用者が入院した場合は病院関係者との情報交換を密に行い、できるだけ早期に退院ができるように努めている。また常日頃から病院と連携して信頼関係を構築している	0	
		49 外部 評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に重度化した場合や終末期のあり方について話し合いをし、必要時に看取りに関する同意書と療養計画書を主治医、本人(家族)、施設の三者で作成し、方針を共有している	0	
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	かかりつけ医の協力のもと、常に連携しながら支援している。今後の変化に際しては早めに対応できるように検討や準備を行っている	0	
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	別の場所へ移り住む際は、本人が安心して、ダメージを最小限にできるように十分な話し合いや情報提供を行っている	0	
		その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1~2 (自己 52~89・外部 23~33)				自己評価38項目・外部評価11項目
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)~(5) (自己 52~81・外部 23~30)		自己評価30項目・外部評価9項目	0	
		(1) 一人ひとり尊重(自己 52~54・外部 23~24)		自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		52 外部 評価 23	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員1人1人が言葉かけや対応に気を配り、記録等の個人情報の保持をこころがけている	0	
		53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	入居者自身が自分で決めたり、希望を表したりする事を大切にし、それらを促す取り組みを日常的に行っている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々によってADLやペース、ニーズも違うため、一人ひとりのペースを大切に、希望に沿って日常生活を送れるように支援している	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	近隣の美容院へ家族やスタッフが同行し、対応している。またカットボランティアを利用したり、馴染みの美容院へは家族に協力をお願いするなど本人の望む店にいけるように努めている	0	
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとり能力に応じてスタッフと共に食事準備や片付けをしている。	0	
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	一人ひとりの状況に応じて嗜好品を日常的に楽しめるように支援している	0	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を活用し、一人ひとりの排泄パターンのチェックを行い、パターンに合わせた誘導や排泄方法をケアプランに取り入れ、失禁やオムツ使用を減らす支援を実践している	0	
		59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日の設定はしているが、個人の状況に合わせて希望やタイミングを考慮し、いつでも入浴ができるように支援している	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	その方の全身状態や生活リズム、希望に応じて休憩時間を確保すると共に、夜間良眠できるように日中の活動を支援して工夫している	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		61 外部 評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴や今までの役割を聴取し、能力やニーズを踏まえたうえで役割や楽しみをケアプランに取り入れ、喜びある生活が送れるように支援している	0	
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族や本人納得のもと本人お金を持っていただき、買い物等ご自分で支払いができる機会を作ったり、初詣等でご自分で賽銭を入れていただいたりしている	0	
		63 外部 評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日々の散歩や買い物、一人ひとりの希望に沿って、スタッフや家族の協力のもと戸外に出かけられるように個別に対応している	0	
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節ごとや月ごとにマイクロバスでお出掛けをしたり、家族と共に出かけられるように支援している	0	
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯を持ち、ご自分で電話される方もおり、電話が困難な方は、絵手紙やメッセージカードを作成し家族へお渡ししている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	家族とも常に近況報告しながら、訪問時は笑顔で対応し、特に面会時間の設定もせずいつでも来ていただけるように心がけている。家族の方にもレクリエーションやサークルと一緒に参加していただけるように声かけをしている	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	0	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関するマニュアルを整備し、研修等を通して正しく理解して、更にケアプランの作成過程で十分アセスメントを行い、身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる	0		
		68 外部評価 29	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	身体拘束に関するマニュアルと研修により、すべての職員は鍵をかけることの弊害を理解しており、居室はもちろん、玄関にも鍵はかけず、いつでも出入りができるようにしている	0		
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は入居者のプライバシーに配慮しながら、常に見守り、声かけを行い、職員同士が連携を取りながら入居者の安全の確保と所在や様子を確認している	0		
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	一人ひとりの状態に応じて危険対策をすると共に、ヒヤリ・ハット報告書を各フロアで早期に共有し安全管理に努めている	0		
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒、窒息、誤薬に関しては施設内研修、マニュアル等にて学び、研修では実際に発生した場合のシュミレーション等も取り入れて学習している。事故対策委員会ではそれぞれのフロアでの事故報告書をもとに事故発生時の状況や対策等を検討し共有し事故防止に役立てている	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	マニュアルの整備や研修会の開催によって職員が対応できるようにしている	0	
		73 外部 評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	月に1回の防火訓練、年に2回の避難訓練によって避難方法や避難場所、誘導方法を身につけると共に運営推進会議等で呼びかけをし、発生時は協力していただけるようお願いしている	0	
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	一人ひとりに起こり得るリスクについては医療、看護、介護の面から家族に説明したうえで望む暮らし等を話し合い、お互いが納得して希望に沿うように支援している	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	0	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェックや排泄チェックで体調管理や異変の早期発見に努め、毎朝看護師が必ずチェックして速やかに情報の共有をしており、早期の対応ができています	0	
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者毎に薬の説明書をファイルしており、説明書にて薬の目的、副作用、用法用量を把握できている。薬の変更時は観察項目を申し送りノート等で情報を共有し、変化の確認に努めている	0	
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	施設内研修で便秘についてと脱水予防の重要性について理解を深めると共に、毎日の体操、散歩等を実施し、献立も工夫して予防するようにしている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、一人ひとりの状態に合わせて口腔ケアを実施している	0		
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者一人ひとりに応じて、咀嚼・嚥下機能、食欲等をアセスメントしながら、食事形態や栄養バランスを考え、支援している。食事をチェックすると共に適宜、水分補給の機会を作り1日を通じて確保している	0		
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染予防対策マニュアルを作成し、予防や対策について実行しており、時期に応じて更に注意を喚起するようにしている。毎年入居者、スタッフ全員がインフルエンザの予防接種を受けている	0		
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食事提供における衛生管理マニュアルを作成し、食中毒の予防に努めると共に、新鮮で安全な食材の確保のために業者からの配達を利用等で管理に努めている	0		
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8項目・外部評価 2項目	0	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5項目・外部評価 2項目	0	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関は入りやすいように季節ごとに装飾をしたり、入り口付近には花を置いたり、入居者が作成した手芸品や絵画等を展示して気軽に入れる雰囲気をつ工夫している	0		
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホーム内は家庭的な雰囲気を入居者に季節ごとに作品を作ってもらい、月ごとに季節感の感じられる装飾をしている。音楽やビデオ等も馴染みのあるものを採用し、くつろいで過ごせるように工夫している	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでほしい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用スペースでも一人ひとりに合った椅子の高さや居場所を確保し、利用者同士もおしゃべりができるように配置している	0		
		85 外部評価33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は家具や寝具、写真やぬいぐるみ、趣味の道具など個人の馴染みのものや思い出の品を自由に持ち込まれ落ち着いて過ごせる場所となっている	0		
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	室内の温度・湿度計を設置し、こまめに換気している。なるべく自然の風を取り込めるようにし、利用者の状況に応じて空調機をフロア、居室でこまめに調整している	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	リビングや廊下、トイレには手すりを設置し洗面台は入居者に合った高さに設定している。テーブルや椅子など一人ひとりの機能や高さに合わせて選択し自立して行えるよう工夫している	0		
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人ひとりの機能に応じて方法や環境を工夫すると共に、ケアプランに沿って混乱や失敗のないケアの統一を図っている	0		
		89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	屋上庭園や玄関前花壇に設置しているベンチ等を活かして、そこでおやつを食べたり散歩をしたり、プランターで野菜を栽培したりして活動できるように支援している	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	2		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	1		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	2		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。